次のステージを見据え、

自

信を持つ



【学長賞】

く評価されました。

「CATY」の名前は、「CAmpus」と 「ciTY」からの造語で、地域と大学の相互理解、交流促進を目的として生まれました。「地域との共生、社会に学ぶ」を合いことはに、高等教育機関としての教育研究の成果を、地域に発信します。また学生が取材活動を通じて、読む・書く・話すといった能力を開発していくことも意図しています。

∇NPO法人ゆにこみゅーん理事メンバー 代表/木村朱里 (総合教養学科2年) 子どもたちの未来のために、地域の活性化や子どもの居場所づくり、学びの場を提供す

るなどの積極的な活動、さらにはその目的達成のためのNPO法人設立に尽力したことが高

### ws CATY

優

れた学生活動に

学長奨励賞を授与

発行/國學院大學 北海道短期大学部 滝川市文京町3-1-1 TEL0125-23-4111 FAX0125-23-5590

編集事務局長 矢口元晴





も翻弄され続けていますが、 コロナ禍はまだまだ続くでしょうが、 立派に学業を修め卒業に至りました

ロナウイルスの感染拡大で社会も大学 んのこれからに必ず役立つものと確信 この困難な状況を経験したことは皆さ 卒業おめでとうございます。新型コ 皆さんは

され学長賞を、オープンキャンパス年 間スタッフ(代表熊谷友希さん)とキ 表・木村朱里さん)の活動が高く評価 さん)とNPO法人ゆにこみゅーん(代 活動を精力的に行った人も多くいま なかでも句歌会(代表・矢代晴子

また、コロナ禍においても、様々な 賞を受賞しました。

ステージを見据え、 いく大切なものとなるでしょう。次の

自信を持って歩ん

な活動はこれからの自分自身を支えて もに顕著な活躍をしたことで学長奨励 受賞の有無を問わず、 真摯で主体的

## 泰 樹

國學院大學北海道短期大学部 学長

平

野

授業を聞いて

教え

そして か等々、

一 でれが削っ とれが削っ は学生

様々なことを

をもらいまし多くのエネルギ

部に赴任する以前も学話になりました。短大

いるのだと思うので

皆さんから多くのエ

したので大学卒業後、

無かったことを実感し

校教育に携わってきま

す。そしてこの春は私 時でもあります。そこ 業おめでとうございま で、この間の教育活動 も新たな生活に旅立つ を振り返って卒業する 「教えられる」ことと 卒業生の皆さん、卒 る」は教員の、

に矛盾した点はないの

出会いました。それは、 てみようと

て」いる私は、授業を進 いる学生の表情を同時 す。たしかに、

ているのか、自分の話 とによって、自分の話 がどれほど学生に通じ に見ています。そのこ

学生から一教えられて

を、と考え書き始めま皆さんになにか一言 関係につながることば だということができま えば「教える」ことと 教育の場のことばでい さて、授業中「教え

太田信二先生

×

10

7

だとすると、

の様々な活動を意味の 教育に限らず、私たち

教育に身を置くことが

行です。時には力を抜す。永遠に続く冒険旅

ゴールの繰り返しで

人生は、スタートと

面間で多様な 関いで多様な を表える時

したのは、 ということが、 授業をやっていて実感 |教える」

向きの矢印を内に含ん 教えられる」という逆 いるということで 同時に

に理解されます。でも、として、まずは固定的

存在していることが、

時に反対向きの矢印が | 学科学科長・教授 太個々の活動の中に、同 | (副学長 総合教養 れて」いるというこ 「教え」つつ「教えら」す。だとすると、私は になりませんか。 このように、 人間の | でしょうか。 と一あるものとしてくれる

と思うのですが、どう

う時は、蓄えた知恵と きながら、ここぞとい

力を発揮して向かって

いってください。皆さ

感じております。 に自身の人生に幸せを できました。感謝と共

この間、子ども達や

思信<u></u>

若者から多くのエネル

んの未来が希望に満ち

田代雄一先生

期大学部に もらいまし 9年間お世 國學院大

ネルギーを

ました。今でも多くの 卒業生とのパイプは継 に燃えて巣立っていき

磨し、それぞれの希望 ほぼ無く健康で過ごす ことができました。先 ギーをいただき、病院 にお世話になることは とを祈念しています。 あふれたものになるこ

や私なりの学びを続け ていきたいと思ってお 費しないよう健康管理 私は、いただいたエネ ルギーをできるだけ消

科学科長・教授 ございました。 (幼児・児童教育学

ります。誠に有り難う

択したことに間違いがある度に教員の道を選

続され、嬉しい報告が

えてくださった方への も貴重なものでした。 川での短大生活はとて

す。大変なこともたく | 養学科2年/金澤葉 っていきたいと思いま | きたいです。 (総合教 忘れずに、今後も頑張 | 積み重ね、成長してい さんありましたが、滝 月 これからさらに経験を

# 酒のうずし 他者まきこみて 沈む句歌

#### 受賞おめでとうございます

▽オープンキャンパス年間スタッフ 代表/熊谷友希(総合教養学科2年)

この2年間を振

して教えるという経験 教育実習前に児童に接

私は大きく成

は短大生活の中でも大

いに役立ちましたが、

担任の先生が進学や編れずにいた私に当時の、

かったと思います。

編入後は、コロナ禍

川で活動範囲を広げる

さり、今に至ります。これについて教えてくだれ

動も始まるため、都会での授業に加え就職活

す。入学当初は遠隔授

業が中心で、 想像して

た北海道での大学生

と思います。

このように國短生と

当たって礎になるもの 今後も教師を目指すに 長できたと感じていま

学生主体のオープンキャンパスの企画・運営にあたり、熱意あふれるスタッフにより参加者の満

後学習ボランティアで

張っていきたいと思い

経験を基に編入後も頑

と思います。滝川での

校で勉強を教える放課

長させてくれました。 の活動も私を大きく成

で

は対面授業となり、滝

影響により実家で過ご 目はコロナウイルスの 間になりました。1年

東の京経

糧滝

|頑張りま

すを

の協力のお陰であった地域の方々そして家族

た。 (幼児・児童教育

(幼児・児童教育 児童教育コー

アルバイトをしたり ワークスタディとして 法を学んだり、図書館

と、非常に有意義な時

会った友人や先生方、

ます。2年間本当に

足度を高められ、150名を超える過去最高の参加者となったことが高く評価されました。

極的に貢献したことが高く評価されました。 防犯旗の製作にあたり、標語作品を提供し、地域の防犯に積防犯旗の製作にあたり、標語作品を提供し、地域の防犯に積下年7月本学と滝川警察署が締結した協定の一環として句歌会 代表/矢代晴子(国文学科2年)【学長賞】



【学長奨励賞】 ▽山本咲耶(国文学科2年)

学生のために積極的に支援に努めながら、自身 の就職活動においても早期に内定を得るな

学内ワークスタディとして就職を志望する その献身的な姿勢は他の学生の模範となっ とが高く評価されました。

できました。

暮らしの経験は新鮮で を感じるよい機会とな 目立した生活の重要性 は自然を取り入れた多 /の経験をすることが また、初めての一人 の中で行ったスキ 北海道の雄大

メー体験やパウダース

なく るの?」と聞かれまし た。4月から私は、 書館司書でも作家でも よく「将来はなにをす 学校の話をすると、 眼鏡の販売員と

けるか不安でし

同級生と

でも興味の対象が皆違 話すうちに、同じ学

楽しいと感じるよう

います。

き、学習はもとより、北

有意義なものとなりま **海道での生活はとても** 

した。石狩川を下る力

き、まもなく対面授業

に移行することがで

先生方を始め、支援課 配しました。 ないのではないかと心 店を過ごすことができ

しかし、

ってとても実りのある しての2年間は私にと

学を諦めていました。

法を学びた

友人と遊んだり、

私は高校卒業時、

進

入するためだけに勉学

に苦労すると思いますっては環境に慣れるの

励んだだけでなく、

の2年間は法学部へ

慣れしていない私にと

の皆様にご尽力いただ

それは短大で新しく出 ものでした。もちろん、

という気持ちを捨てら

ナールを通して楽し

で得たことや今まで支 が、滝川での短大生活

地域のギャップを感じ

ズの仕組みなど新しく

ました。

就職後も、眼やレン

の方と関わるなかで学が、子どもたち、職員

たからです。 ことを学ぶことができ

私は春から滝川市の

感じる時もありました

学して正解だったと思 仕事に見えますが、 進 しかなかったため、やへのぼんやりした興味 んだことと関係のない 入学当初は、 民俗学

がおもしろく、勉強がはいたです。その経験のはど」と思うことが多り りました。人との交流 でも学業でも、 しました。そのとき各 科目のつながりを感じ るために万葉集を引用 の調査では、風習を知 たことも興味深かった です。また、 興味の範囲が広 卒業論文 ょうか。将来に楽しみまったのではないでし す。 皆さまに感謝していま の環境を作ってくれた の成果でした。進学さ が、2年間で得た一番 くさいなあと思ってし たら、これをめんどう す。進学していなかっ せてくれた両親と、こ なことを増やせたこと 勉強することがありま

(国文学科2年/ 環境を整え、子どもた は子どもたちのために く甘い考えが一年次に く観察し、子どもが言 も見逃さないようによ ちのほんの小さな変化 実習を通して、保育士 はありました。しかし る仕事であるという浅 士はただ子どもと関わ 正直に言えば、保育

ぶことがたくさんあり 方々、職員の方々と関 児·児童教育学科 | ます。2年間ありがと | 子どもたちと保護者の ことを生かしながら、 りに緊張しています 保育士として働きま うございました。 が、この短大で学んだ す。新しい生活の始ま

実習期間中は大変だと 思い出に残っている経 験は、保育実習です。 びがありました。一番 ると、様々な経験や学 この2年間を振り返 この短大でたくさんの るようになったのは、 るようになりました。 ていく、とてもやりが いのある職業だと考え を見て、保育士は子ど もたちと一緒に成長し に考えたりしている姿 このように考えられ

【学長奨励賞】

伝えればよいかを一緒

育士になります春から滝川の保

い感情を読み取りどう